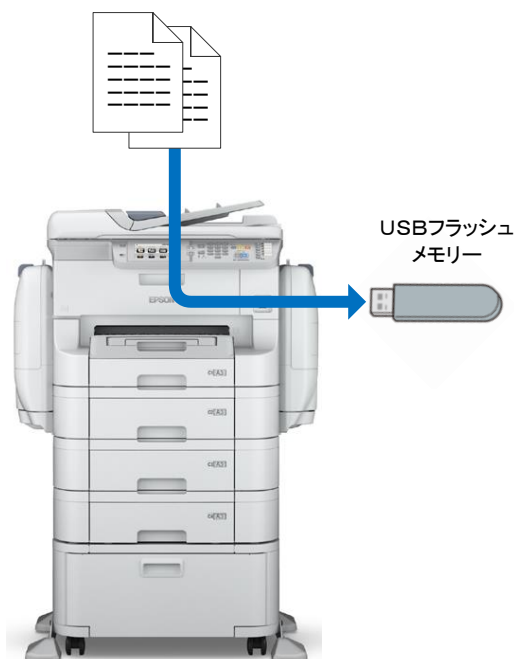


スキャン to 外部メモリー機能

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。

装置がネットワークに接続されていなくても利用することができます。



目次

事前準備・設定	1
スキャン仕様	2
使い方	4

※：本資料は、PX-M7050F を使用した場合の画面例を掲載しています。

事前準備・設定

スキャン to 外部メモリー機能を利用するには、外部メモリーを用意するだけで、事前準備・設定は不要です。

利用できる外部メモリーは下記のとおりです。

メディア	USB フラッシュメモリー
ファイルシステム	FAT / FAT32 / exFAT ※NTFS は利用できません。
注意点	暗号化ソフトの入っているセキュリティタイプの USB フラッシュメモリーは利用できません。 USB ハブ、USB 接続のメモリーカードリーダーなどをご使用になれません。 これら以外でも、市販されているすべての USB フラッシュメモリーで動作を保証するものではありません。

スキャン仕様

スキャン to 外部メモリー機能で、外部メモリーに保存できるファイル形式は、次のとおりです。

保存形式	4 形式から選べます。	
	PDF	マルチページ形式。カラー/モノクロ。 パスワード設定(文書を開く、印刷/変更権限)が可能。
	JPEG	シングルページ形式。カラー/モノクロ。
	TIFF(シングルページ)	シングルページ形式。カラー/モノクロ。
	TIFF(マルチページ)	マルチページ形式。モノクロのみ。
※シングルページ形式は、複数ページをスキャンするとページ毎にファイルが作成されます。		
保存ファイル名	EPSONnnn.XXX 例) EPSON001.PDF	
	EPSON	固定文字列です。
	nnn	装置が自動付与する 001~999 の 3 桁の連続番号です。 シングルページ形式の場合も、連続番号で付与されます。 2 ページをスキャンした例) EPSON002.jpg EPSON003.jpg
	.xxx	保存形式でファイル拡張子が変わります。 PDF=.PDF JPEG=.JPG TIFF=.TIF
※次ページの「ファイル名/フォルダー名生成規則」を参照。		
保存フォルダー	¥EPSCAN¥nnn 保存先フォルダーは、「スキャン to 外部メモリー」を実行時に USB フラッシュメモリー内に自動作成されます。保存先フォルダーは固定ルールで自動作成され、¥nnn は 001~999 の 3 桁の数字です。 ※次ページの「ファイル名/フォルダー名生成規則」を参照。	
解像度	200dpi / 300dpi / 600dpi	
スキャン範囲	A3 機-1 ^{※1}	A4 横 / A4 縦 / A5 横 / A5 縦 / A3 横 / B5 横 / B5 縦 / B4 横 / ハガキ横 / ハガキ縦 / 自動キリトリ / 最大範囲
	A3 機-2 ^{※1}	A4 / A5 / A3 / B5 / B4 / ハガキ / 自動キリトリ / 最大範囲
	A4 機	A4 / A5 / B5 / ハガキ / 自動キリトリ / 最大範囲
原稿の両面設定	片面 / 両面 原稿とじ位置左(長辺)/上(短辺)	
原稿タイプ	文字 / 文字・写真 / 写真	
	モノクロ / カラー	
濃度	-4 ~ 0 ~ +4	
原稿の向き	縦原稿 / 横原稿	

圧縮率	高い / 標準 / 低い
PDF 設定	文書を開くパスワード / 権限パスワード 印刷許可 / 編集許可
影消し ^{※2}	オフ / オン 枠幅 0 ~ 40mm

(※1) A3 機-1 : PX-M7050F/ PX-M7050FT/ PX-M7050FP/ PX-M7050FX A3 機-2 : PX-M5040F/PX-M5041F

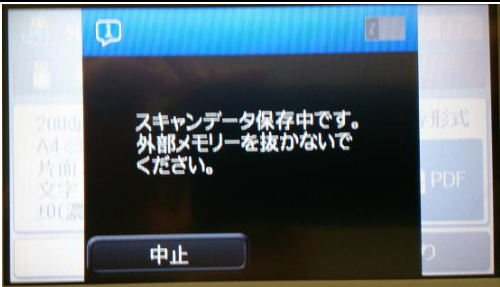
(※2) PX-M7050FX/PX-M860F のみ。

ファイル名/フォルダー名生成規則 (デジタルカメラ規約の DCF に倣っています) :

1	外部メモリーのルートに「¥EPSCAN¥nnn」フォルダーがあるか探す。 無い場合→「¥EPSCAN¥001」フォルダーを作成して 2 へ 有る場合→ 2 へ
2	¥EPSCAN フォルダー内の一番大きい値の「¥nnn」フォルダー内に、「?????nnn.*」ファイルがあるか探す。 無い場合→「EPSON001.*」でファイル保存する。 有る場合→ 3 へ (「?????nnn.*」は、英数字 5 桁に続く数字 3 桁のファイル名。拡張子は don't care。)
3	「?????nnn.*」ファイルの一番大きい値の「nnn」が、 「999」でない場合→「EPSON(nnn+1).*」で保存される。例)「AAAAA050.*」なら「EPSON051.*」 「999」の場合→ 4 へ
4	¥EPSCAN フォルダー内の一番大きい値の「¥nnn」フォルダーの「nnn」が、 「999」でない場合→「¥nnn」フォルダーの「nnn」に+1 したフォルダーを作成し、「EPSON001.*」で保存する。 「999」の場合→「フォルダーを作成できません」メッセージ表示してエラー終了。 (¥EPSCAN フォルダー下に¥999 フォルダーがあり、その中に EPSON999.*ファイルがあると、これ以上この外部メモリーにはファイル保存できません。)

使い方

<p>1</p>	<p>装置の「外部機器接続ポート」に USB フラッシュメモリーを挿入します。 装置が USB フラッシュメモリーを認識すると「外部メモリーが認識されました。」と表示します。</p>					
<p>2</p>	<p>原稿を ADF、または原稿台(フラットベッド)にセットします。</p>					
<p>3</p>	<p>「ホーム」画面で「スキャン」を選択します。</p>					
<p>4</p>	<p>「スキャン to」画面で「外部メモリー」を選択します。</p>					
<p>5</p>	<p>「外部メモリー」画面で、必要に応じて「保存形式」 [設定] を変更します。</p> <table border="1" data-bbox="169 1525 815 1760"> <tr> <td>[保存形式]</td> <td>PDF / JPEG / TIFF</td> </tr> <tr> <td>[設定]</td> <td>解像度、濃度、原稿タイプ(文字/文字・写真・写真)、原稿の両面設定、原稿の向き(縦原稿/横原稿)、PDF のパスワード設定、など</td> </tr> </table>	[保存形式]	PDF / JPEG / TIFF	[設定]	解像度、濃度、原稿タイプ(文字/文字・写真・写真)、原稿の両面設定、原稿の向き(縦原稿/横原稿)、PDF のパスワード設定、など	
[保存形式]	PDF / JPEG / TIFF					
[設定]	解像度、濃度、原稿タイプ(文字/文字・写真・写真)、原稿の両面設定、原稿の向き(縦原稿/横原稿)、PDF のパスワード設定、など					
<p>6</p>	<p>モノクロスキャンは [モノクロ スタート] ボタン を、 カラーสキャンは [カラー スタート] ボタン を押します。 TIFF(マルチページ)形式の場合は、モノクロのみです。</p>					

<p>7</p>	<p>スキャンが開始されます。</p> <p>【注意】 スキャンデータの USB フラッシュメモリーへの保存が始まると、「データ」ランプが点滅します。「データ」ランプが点滅中は、USB フラッシュメモリーを抜かないでください。</p>	
<p>8</p>	<p>スキャンが完了すると、保存フォルダー/ファイル名が表示されます。</p> <p>「データ」ランプが点滅していないことを確認してから、USB フラッシュメモリーを抜き取ります。</p>	